

目標達成計画

作成日：令和元年5月1日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	I-13	職員の意見を聞く機会はあるが、意見を反映するまでには至っていない	職員の意見をできるだけ反映し、職員が働きやすい環境を作ると共に、入居者のサービス向上に努める	職員の意見を良く聞き、職員のやりたい事、やって見たい事などには、まずは否定せずに、職員に取り組んでもらう。取り組んだ結果、どうであったかを職員自身で感じることで職員のスキルアップに繋げる。	12ヶ月
2	III-13	重度化していくことで、重度の方への介助が多くなることで、軽度の方への支援が行き届かず、軽度の方が重度化する進行が早くなってしまっている。	重度化した方へのケアに集中せず、自立している方が、いつまでも自立した生活を維持できるように機能の行訓練等を行い支援をする。	要介護3になった時点で、家族に今後の事について説明し、特養への申し込みを検討していただくと同時に、散歩や歩行訓練、日常生活の支援を通し、機能の維持を図る。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。